

令和3年度使用中学校用教科用図書（「美術」）の採択結果等について

広島大学附属三原中学校

種目	発行者	採択理由
美術	開隆堂	<p>○基礎・基本の定着に関わって 新学習指導要領で定義された教科の資質・能力について、題材や学習の中心的な課題として、生徒が理解しやすいように分かりやすく示されている。</p> <p>○主体的に学習に取り組む工夫に関わって 各領域の導入で学習における意義を考えさせたり、題材を身近なものに設定したり、学習のポイントとなる造形的な見方を示したりすることで、生徒自らが課題を見つけ学習活動を行えるようにしている。</p> <p>○内容の構成や配列に関わって 他教科との関連や、生活や社会とのつながりも意識した構成となっており、3年間を通じて学びを深め、多様な見方・考え方で社会や生き方について考えられる内容となっている。</p> <p>○内容の表現や表記に関わって 美術と持続可能な社会や、多様性との関わりについて図版や文章などで分かりやすく示し、肖像権や著作権についても配慮すべき内容を詳しく掲載するなど、現代的な課題についても学習することができる。また、色彩の学習では少数派色覚の生徒にも配慮した配色・図版で表すなど、カラーユニバーサルデザインが採用されている。小学校で学習する漢字以外の漢字には総ルビ表記を行い、意味のまとまりごとの改行や、フォントの工夫などもされている。図版にも図番号を割り振ってあり、読み取りが苦手な生徒なども含めて全ての生徒が使いやすい教科書のデザインがなされている。</p> <p>○言語活動に関わって 各題材の中で学習のポイントとして、話し合いを促す発問が設定されている。また、制作の過程やアイデアスケッチの例を挙げ、自らの考えを言葉で表すための工夫や手立ても示されている。</p> <p>○本校の研究に関わって 現代的な課題や他教科とのつながりが考えられた構成で、教科横断的に光輝（かがやき）の授業等にも活用できる。</p>

